そのままにできない社会課題に
新しいフィランソロピーを

少子高齢化による年金制度や医療介護システムの疲弊、経済的格差の拡大と固定化、
ジェンダー不平等など、日本には様々な社会課題が存在します。

それらは解決されるべきであると多くの方々が考えておられることでしょう。

しかし、どこから手を付けてよいのか。自分に何ができるのか。
社会課題に正面から取り組むことは、なかなか難しいのではないでしょうか。

人々がより幸せを感じられる社会をつくりたいという皆様の活動を私たちはサポートします。

今こそ、その情熱を実践に移してみませんか。

SIIFは、これまで、インパクト（成果）を重視し、柔軟な資金提供によって社会課題解決やイノベーションが起こる社会の実現をめざしてきました。その経験を活かし、グローバルで、今、急速に発展する「新しいフィランソロピー」を、個人の皆様にご提案します。

- 社会課題の構造的な解決をめざす
- 寄付から投融資まで柔軟な資金支援を行う
- 社会的インパクトを重視する

ADVISING PROCESS

SIIFのフィランソロピー・アドバイザリーの基本ステップ

社会をより良いものにするための活動について、目的の明確化から戦略の策定、効果の測定までを、クライアントと一緒に考え、実行していきます。

Step. 01 動機の明確化と目的の設定

- なぜ、フィランソロピーを行うのか
- 解決したい社会課題は何か
- 期待する社会の変化は何か

Step. 02 解決したい課題の分析・調査

- その社会課題に対し、今、どのような活動が行われているのか
- どのような活動が求められているのか

Step. 03 戦略の策定

- 誰に、何を、支援したいのか
- その支援によって起こしたい変化は何か
- それはどのように実現されるのか

Step. 04 手法の選択

- どのような方法でそれを実現するか（寄付か、投資か。財団設立か、基金か。etc.）
- それらをどのように運営するか

Step. 05 実践

- どの組織を支援 / どの企業に投資するか
- 支援先の活動は効果的なものか 組織は信頼できるか
- プログラムは意図した通り実施されているか

Step. 06 効果の測定（社会的インパクト評価）

- 支援はどのような効果があったのか
- さらなる発展のため、今後、どこにどのような支援を行うか

注：Step 2-4 の順番は前後することがあります

OUR PARTNER

ロックフェラー・フィランソロピー・アドバイザーズとの提携

ロックフェラー・フィランソロピー・アドバイザーズ（RPA）は、個人、ファミリー、企業、財団によるフィランソロピーとインパクト投資についてアドバイスを提供する非営利組織で、毎年 2 億ドル以上の活動をサポートしています。

ROCKEFELLER Philanthropy Advisors

Message from Rockefeller Philanthropy Advisors

この度、世界最大級のフィランソロピーアドバイザリー機関であるロックフェラー・フィランソロピー・アドバイザーズは、日本における民間フィランソロピーを支援するために、SIIFと協働します。RPAは日本でのフィランソロピーの発展に期待しており、日本のフィランソロピーを支えるエコシステムの構築に向けたSIIFの活動は、注目に値すると考えます。これからも両社協力のもと、日本のフィランソロピーの発展に貢献します。私たちは、日本でのフィランソロピーの継続的な進化と、エンゲージメントの強化により、世界的なフィランソロピー活動に利益がもたらされることを期待しています。

HOW WE SUPPORT

アドバイザリー事例

フィランソロピーにおける様々な悩みや疑問を、クライアントと共に考え、より満足のいく活動にしていきます。

「何を支援してよいかわからない」

課題　自社株式を寄付して奨学財団を設立したが、その活動内容についてはじっくり考えられていない。とりあえず、奨学金を出している。

SOLUTIONS

1. まずは、奨学金が満足のいく支援になっているかを検討します。
2. 奨学金以外に関心のある社会課題を対話から導き出し、調査・分析を行い、新たな支援領域を特定します。
3. 支援の戦略を策定し、手法を決定し、支援先を選定していきます。
4. 支援実行後、資金提供の効果を測定し、戦略の見直しを行います。

「支援は自分の目指していたものになっているのか」

課題　基金を設立し、子供の貧困の解消について活動する複数の NPO に支援を行っているが、支援先の選定は他人に任せているため、結果としてどのような課題の解決につながっているのか、支援の全体像がみえない。

SOLUTIONS

1. 子供の貧困が生まれる「原因」と、貧困により起こる「諸問題」の整理を行います。
2. 課題の構造的な解決を目指したい場合、「原因」に効果のある支援を追加。
3. 支援の現場を理解していただくため、支援先の現場視察をアレンジします。

「事業の社会的インパクトを可視化したい」

課題　事業（上場企業）の社会性が高く、海外からは ESG 銘柄として問い合わせがくる。日本の投資家にも、事業の社会性を言語化・可視化して、訴求したい。

SOLUTIONS

1. CEOと社員によって、事業活動を通じて創出したい社会的インパクトまでの道筋を言語化・可視化します。
2. 効果の測定指標を設定し、それを織り込んだインパクトレポートを作成して、ステークホルダーに提示します。
3. 上記を記したインパクトレポートを作成し、ステークホルダーに提示します。
4. 一定期間後に効果を測定。1 を見直し、より精度の高いものに更新していきます。

「既存のフィランソロピー活動を見直したい」

課題　既に非営利法人を設立し、複数の活動を行っているが、それらが目指すゴールに繋がっているか確信が持てない。戦略とこれまでの活動を改めて見直したい。

SOLUTIONS

1. 現在のプログラムがどのように目指す長期ゴールに繋がっているか、その道筋を整理し、言語化・可視化。繋がりが弱いプロジェクトについては、内容の見直しを行います。
2. 新しくプロジェクトを始める場合は、課題領域の調査、他団体・専門家へのヒアリング・現場視察を行い、長期ゴールに繋がる戦略を策定します。
3. 組織の体制強化や効果的な運営、他団体との協業等について検討します。
4. インパクト評価により活動のインパクトを測定し、より高い成果に繋げていくための検討を行います。

OUR ADVISORS

フィランソロピー・アドバイザー紹介

日本の富裕層向け金融サービスとグローバルでのフィランソロピーの経験を元に、新しいフィランソロピーの発展に貢献します。

藤田 淑子 YOSHIKO FUJITA

一般財団法人社会変革推進財団（SIIF）
事業本部長代理

20年以上にわたり、米国系、スイス系金融機関のプライベートバンキング部門にて、個人富裕層の資産運用管理業務に従事。2015年から、障害者就労支援施設（B型）や経済的困難を抱える子どもの学習支援を行うNPOにて活動。2019年より現職。SIIFでは、個人富裕層向けフィランソロピー・アドバイザリー事業、社会起業家支援事業を担当。「社会を変えたい」フィランソロピストと、「社会を変えよう」としている起業家やNPOをつなぎます。

小柴 優子 YUKO KOSHIBA

一般財団法人社会変革推進財団（SIIF）
インパクト・オフィサー

大学卒業後、外資系メーカーに就職し、社内のリーダーシッププログラムを経たのちにエネルギー関連部門にて勤務。退職後、米国ニューヨークの公共政策大学院に留学。留学中、ロックフェラー・フィランソロピー・アドバイザーズやジョージ・ソロスの財団に勤め、フィランソロピーの持つ可能性に惹かれる。SIIFでは、個人富裕層向けフィランソロピー・アドバイザリー事業、ベンチャーフィランソロピーファンドの運営、社会的インパクト評価の事業に従事。

OUR PROJECT

フィランソロピー事業について

■ フィランソロピー・アドバイザリー

個人やファミリーのフィランソロピーの戦略立案から実践、効果検証までの活動に対する助言を行います。

■ 調査・研究

2020年9月「新しいフィランソロピーを発展させるエコシステムに関する調査」レポートを発行。

■ 事例・情報発信

「新しいフィランソロピー」に関する
国内外の事例や最新情報を発信します。
https://siif.or.jp/strategy/philanthropy

■ コミュニティ作り

個人でフィランソロピーを実践されている方、実践にご関心のある方また、そのような方々を支援する金融機関や専門家を対象に、情報提供を行います。また、同じような志や関心を持つ方々同士の交流の場をご提供します。

SIIF
Social Innovation and Investment Foundation
社会変革推進財団

当財団は、日本におけるインパクト投資のエコシステムを育て、社会課題を解決していくというミッションのもと設立されました。ソーシャル・インパクト・ボンドをはじめとするインパクト投資のモデル開発や普及のための環境整備、調査研究・政策提言に取り組んでいます。世界に先駆けて成熟社会に突入する日本において、持続可能な社会を支える資金の流れを多様なパートナーと共に作り出すことを目指します。

一般財団法人 社会変革推進財団　Japan Social Innovation and Investment Foundation（SIIF）

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目11番28号 M-City 赤坂一丁目ビル6階
TEL：03-6229-2622（代表）　E-MAIL：philanthropy@siif.or.jp（担当：小柴・藤田）　URL：https://www.siif.or.jp